



平成24年4月24日

各 位

東京都中央区日本橋1丁目20番3号
藍澤証券株式会社
代表取締役社長 藍澤 基彌
(コード番号: 8708)
問合せ先 専務取締役 齋藤 孝三
TEL 03-3272-3421
E-mail: ir@aizawa.co.jp

平成24年3月期連結業績見通しと平成23年3月期連結業績との差異に関するお知らせ

平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)と平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績に差異が生じたのでお知らせいたします。なお、平成24年3月期の業績につきましては4月27日に開示の予定です。

記

1. 平成24年3月期の業績見通し

(単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成24年3月期(見通し)	8,460	△1,298	△924	△1,624
平成23年3月期(実績値)	9,486	△1,973	△1,978	△2,605
増減額	△1,025	674	1,054	981
増減率	△10.8%	—	—	—

(注) 1. 金融商品取引業の業績は経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受けるため、業績を適正に予想することは困難であることから業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績見通しを決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示いたします。

2. 上記の業績見通しにつきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は当該数値と異なる可能性があります。

2. 連結業績見通しの説明

平成24年3月期の主な収益・費用の見込みは以下のとおりです。

(受入手数料)

第4四半期(平成24年1月1日～3月31日)に入り、株式委託手数料を中心に回復基調にありましたが、第1四半期から第3四半期までの落ち込みを補うまでには至らず、受入手数料は60億16百万円(前年度比76.5%)となる見込みです。

(トレーディング損益)

トレーディング損益は外国債券手数料および外国株式の為替手数料の増加により19億17百万円(同133.2%)となる見込みです。

(金融収支)

金融収益は信用取引貸付金の減少等により4億30百万円(同73.4%)、金融費用は信用取引借入金の減少等により1億26百万円(同50.1%)となる見込みです。これにより、金融収支は3億3百万円(同91.2%)となる見込みです。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は情報システム関連費用の見直し等による事務委託費を中心とした削減により、96億32百万円(同86.0%)となる見込みです。

(営業外損益)

営業外収益は受取配当金2億57百万円および貸倒引当金戻入額1億37百万円等により5億円(同106.2%)となる見込みです。営業外費用は投資事業組合運用損74百万円、和解金41百万円等により1億26百万円(同26.5%)となる見込みです。これにより、営業外損益は3億74百万円の利益となる見込みです。

(特別損益)

特別利益は投資有価証券売却益4億28百万円等により4億38百万円となる見込みです。特別損失は投資有価証券売却損6億78百万円、固定資産の減損損失3億22百万円、固定資産除却損68百万円、貸倒引当金繰入額52百万円等により、11億47百万円となる見込みです。これにより、特別損益は7億8百万円の損失となる見込みです。

営業外損益ならびに特別損益について詳細につきましては、本日別途開示の「営業外収益、営業外費用、特別利益および特別損失の発生に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上